

EROSION



R18
For Adult Only

ここは人類の敵
セイレーンに
対抗する為に作られた
とある海域の軍港

ここではメンタルキューブによって
建造されたKAN・SENと言われる
女性の姿をしたフネ達が
一人の指揮官と暮らしていた

そんなある日
彼らの元に指揮官の
上官が着任した

異常な程メンタルキューブの
適応性が高いその上官に
全指揮官が与えられ

海軍少尉
指揮官は命令により
他の軍港へ左遷に近い形で
移動させられてしまう

任海軍少尉

これに対し前指揮官を慕う
KAN・SEN達から
反感の声が上がるように
思われたが不思議と
起きる事はなかった

「あつ指揮官お疲れ様
見ての通り他の子たちに
水泳を教えていたところよ」

「指揮官も私から
教わりたいのかしら？」

何故なら上官が持ち込んだメンタルキューブは他のキューブとは違い意識や記憶を改変出来たのだ

プールサイドにいる彼女重巡のザラを含めKANSEN達は上官の事を前の指揮官と同じ人間だと刷り込まされている

別人だと思ふ事もなく前の指揮官と同じようにいつもと変わらない会話が変わされていく

「指揮官も泳ぎに来たの？それとも…なにか別の目的でもある？ふふふ」

ザラがプールから上がる時とした瞬間、後ろから大きな乳房を上官に掴まれる

「焦ってるのはわかるけど時と場合を考えるべきじゃなくて？」

周りの目を気にする事無く両乳房は縦横無尽に揉みしだかれる

「あんっ♪
もう…しょうがない指揮官ね」

ザラは上官の手を引きながら足早に更衣室へと入って行く

二人が更衣室の
個室に入るや否や
先ほどの続きが再開する

「気のせいかしら？
なんだか前よりチンポが
大きくなった気がするわ」

愛おしそうに優しく
慣れた手つきで
チンポをしこいていく

ぬるぬる

ぬるぬる

「もう我慢汁が
こんなに溢れてるじゃない
もったいないわ」

指ですくった
我慢汁を舐めると
ザラは音を立てながら
チンポをしゃぶり始めた。

「んんっ…っあはあ♪
指揮官の凄く美味しい」

貪欲に根元まで
口に頬張ったかと
思うと今度は裏筋を
舌で丁寧に舐めたりと
見事なフェラを披露する

「あふっ♪
もう射精したいのかしら？
駄目よ指揮官♪
勝手に一人でイクのは♪」

ザラ

ザラ

ザラがパンツをずらすと
蜜で濡れた花卉が現れる

「イクなら一緒よ
出すなら私の中でね♪」

指で皮肉を掘げると
それに狙いを定めた
上官の剛直したチンポは
腔肉を一気に割って挿っていく

「んっはあああ♪
指揮官のが来てるう♪」

奥まで激しく
突いたかと思うと

今度はぐるりと
弧を描くように中をかき回す

「はあんっ♪
何処で覚えたの
こんなスゴテクう!」

「腔でチンポが
うねってる♪
まるで別人みたい♪」

今まで
味わった事のない
快楽に身を寄せ
嬌声を上げる

「ふあああ
弱い箇所をぐりぐり
突かれてるう♪」

「あっあっあああ!
凄い凄いわああ♪」

時間が経つにつれ
腰を打ちつける速度と
間隔は短くなり
結合部から出るいやらしい音も
大きくなっていく

「もうだめえ！
お願い指揮官も一緒にいー！」

その咆哮と共にザラは
激しく痙攣し絶頂する

「イクうううッ！
んうあああああー！」

玉袋の精子さえ
搾り取るような
絶頂痙攣に合わせ
上官も射精する

止めどなく放たれる精子は
子宮を満たしていく

「はあああ
セックスってこんなに
気持ち良かったのね」

「・・・ねえ指揮官
私ともっとして
くれないかしら？」

上官はそれに応えるよう
射精し終えたチンポを勃起させ
ザラの子宮を突き上げた

「ああああっ♪
ほんと今日の指揮官は
最高よ♪」

数カ月後
上官はセイレーンの
スパイだった事が
軍内部で発覚する

だが時すでに遅く
軍港はセイレーンの
手に渡った後だった

ドク
ドク
ドク

KAN・SEN達は
上官との連日連夜
交尾により
セックス中毒の
肉嫁にされ

一人残らず上官の子を
孕まされていった

それはセイレーンが
KAN・SENの
産む子供達に素体・素質
新たな可能性を
見出す実験の為である

そんな事を一切知らない
KAN・SEN達は
今日も上官のチンポに
孕み産まされ
狂喜の声を上げていく





EROSION

END

～奥村～

発行人：だらぶち堂
だらぶち

印刷所：ねこのしっぽ様

E-mail: darabuchi0@gmail.com

U R L : <http://darabuchi.iinaa.net/>

18歳未満は閲覧購入禁止